

* * * 10月31日(土) * * *

センター長挨拶 (13:00-13:10)

岩下 明裕 (スラブ研究センター長)

趣旨説明 (13:10-13:30)

小澤 実 (名古屋大学グローバルCOE 研究員) 前近代の北西ユーラシア 越境研究と史料研究

講演 (13:30-14:30)

家島 彦一 (早稲田大学特任教授)

アラビア語史料に記録された北西ユーラシア世界 とくにイブン・ファドラーン『報告書(リサーラ)』による

第1セッション：中央アジアの視点 (15:00-17:00)

第1報告：赤坂 恒明 (早稲田大学非常勤講師) ペルシア語・チャガタイ語諸史料に見えるモンゴル王統系譜とロシア

第2報告：川口 琢司 (藤女子大学非常勤講師)・長峰 博之 (北嶺中・高等学校教諭)

15世紀におけるジョチ・ウルスとモスクワの相互認識 ロシア語訳テュルク語文書を中心に

コメント：堀川 徹 (京都外国語大学教授)

懇親会 (18:00-20:00) 会費：4500円

場所：札幌アспенホテル

札幌市北区北8条西4丁目5番地 (<http://www.aspen-hotel.co.jp/>)

* * * 11月1日(日) * * *

第2セッション：イスラーム世界の視点 (9:30-11:30)

第1報告：小笠原 弘幸 (青山学院大学非常勤講師)

オスマン朝叙述史料から見たロシア 本格的接触(17世紀半ば)以前の時代における

第2報告：磯貝 健一 (京都外国語大学非常勤講師) 20世紀初頭ロシア統治下サマルカンドのファトワー文書

コメント：濱本 真実 (人間文化研究機構研究員)

第3セッション：スカンディナヴィアの視点 (13:00-15:00)

第1報告：小澤 実 ルーン石碑から見たスカンディナヴィア世界と東方世界の交渉

第2報告：成川 岳大 (東京大学大学院)

13-14世紀フェノスカンジア北部における諸集団(サーミ、クヴェン、ビャルマル、カレリア)と周辺勢力間の関係変容

コメント：細川 滋 (香川大学教授)

第4セッション：ビザンツ帝国の視点 (15:30-17:30)

第1報告：草生 久嗣 (千葉大学非常勤講師)

ロシア-ビザンツ緩衝地帯の蛮族観について 12世紀ビザンツ史書におけるペチェネグを題材に

第2報告：橋川 裕之 (静岡県立大学講師) シリアからロシアへ 黒山のニコンの著述の航跡

コメント：宮野 裕 (北海道大学助教)

さいごに (17:30-17:50)

長縄 宣博 (スラブ研究センター准教授)

近現代史の視点から